



ホームページは
こちらからどうぞ

一人ひとりのいのちが尊重される社会をめざして

公益財団法人宮崎県移植推進財団は、臓器移植に関する知識の普及啓発や臓器提供に関わる医療機関への支援など、臓器移植を推進するために必要な事業を行い、もって県民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とした県内で唯一の機関です。

みやざき“いのちのリレー”ポスターコンテスト2024 入賞作品

臓器移植は善意による臓器の提供があって成り立つ医療であり「いのちのリレー」とも呼ばれています。

当財団は、今年も（一社）宮崎県腎臓病協議会様との共催による標記ポスターコンテストで選ばれた入賞作品7点を通じて、臓器移植に関連する「寄り添うこと」、「やさしさ」、「思いやり」、「いのちのつながり」等を県民の皆様と考えていただく機会として提供するとともに、コンテストへの応募を通じて、県内の中学生・高校生に臓器移植に関する正しい知識と提供意思表示の意義を周知しました。

最優秀賞

宮崎日本大学高等学校1年
川越 桜子さん

みやざき“いのちのリレー” ポスターコンテスト2024

- 主催
（一社）宮崎県腎臓病協議会
（公財）宮崎県移植推進財団
- 募集期間
令和6年7月22日～9月11日
- 表彰式
令和6年10月20日（日）
イオンモール宮崎で開催された「臓器移植・
骨髄バンク普及推進キャンペーン」の中で実施



優秀賞



日南市立吾田中学校3年
日高 美琴さん



宮崎日本大学高等学校1年
橋本 明水晴さん

特別賞



宮崎日本大学高等学校1年
宮島 希愛来さん

佳作



宮崎日本大学高等学校1年
河野 小凜さん



宮崎日本大学高等学校1年
福井 さくらさん



宮崎日本大学高等学校1年
原田 志穂里さん

審査の様子



表彰式 (10/20)



3回目となる今回は、県内の中学校・高校18校から計101点の応募がありました。審査は主催者と有識者が所定の審査項目に加点する方式で行い、最高点を最優秀賞、次点以下6作品を上記のとおり選定しました。有識者からは「これまで以上にレベルの高い作品が多かった。来年度も選考に困る位の作品が多く集まることを期待したい」との講評がありました。表彰式では宮崎県腎臓病協議会長の横山真三様から入賞者に対し審査の様子や応募に対する感謝の言葉をいただきました。またイオンモール宮崎と県企業局舎でのポスター展では応募者に対するたくさんのエールをいただきました(下記)。今後は臓器移植啓発のため大切に活用してまいります。

ポスター展



イオンモール宮崎 (10/21~27)



県企業局庁舎 (11/5~11)



トピックス ～我が国の臓器移植



世界の臓器提供数 (100万人あたりのドナー数)



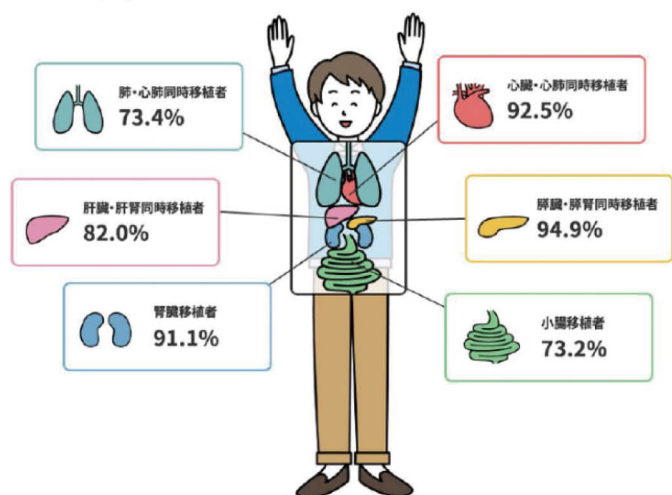
出典：IRODaT(DTI Foundation) 日本を除く (2018年)

世界の臓器提供数を人口100万人あたりの臓器提供者数として世界の国々と比較すると、日本は0.77であり、アメリカの1/43、韓国の1/11に過ぎないことから、他国と比較して臓器の提供件数が少ないといえます。言い換えると、日本は、自国において臓器移植を受ける機会が少ないことになります。

アメリカでは、人口3億2800万人に対して年間約1万人が死後に臓器提供しており、臓器移植件数は2万件を超えています。これに対し日本では、人口1億2000万人に対して、死後に臓器提供する人は年間100人前後で、臓器移植件数は400件程度となり、アメリカやヨーロッパの諸外国等と比較しても格段に少ないのが現状です。この要因として、脳死を人の死として受け入れることへの抵抗感や臓器提供の施設が限定されていること等が影響していると考えられています。



臓器移植の生存率 (5年)



上記のとおり日本は他国に比べ件数は低い水準にありますが、臓器移植の医療技術と移植後のケアは移植の多い国と比べても、非常に高い水準にあります。移植後5年で移植を受けた患者さんが生存している割合(生存率)は、心臓、膵臓、腎臓で90%を超え、肝臓80%、肺、小腸は70%を超えます。腎臓は透析によって、膵臓はインスリンによって命をつなぐことができますが、心臓や肺、肝臓などは移植を受けなければ生きていくことができません。特に肺の移植などは、一見すると生存率が低く見えますが、移植を受けなければ数ヵ月後には亡くなられていた可能性を考えると、移植医療は命をつなぎ、生きる希望になっているといえます。

日本臓器移植ネットワーク 臓器移植解説集より

臓器移植普及推進月間の取組

臓器移植普及推進月間の10月に合わせて、今年度は9月から11月にかけて啓発リーフレットやポスターを利用し、県や市町村、関係団体等と連携した様々な普及啓発活動に取り組みました。



県庁本館グリーンライトアップ
(10/15～21)



県防災庁舎パネル展示
(9/17～30)



新規採用の県職員に対する啓発
(10/10～11 新規職員後期研修会場)



グリーンリボンキャンペーン



キャンペーンの天使
ハーティ

令和6年10月20日(日)にイオンモール宮崎でグリーンリボンキャンペーンを開催しました。

ヒナタテラスのステージでは「バルーンツイスターゆーき&リリーさん」に素敵なバルーンアートを披露していただきました。またショーの中で、当財団臓器移植コーディネーターの中川が登壇し、臓器提供の意思表示の重要性などをパフォーマーとの楽しい掛け合いの中でわかりやすく説明しました。今回はステージ横で臓器提供等に関するアンケート調査も実施し、ご協力くださった方にはみやざき犬をプリントした啓発ロゴ入りのオリジナルエコバッグをお配りしました。

レストランコートの展示ブースでは、今回も臓器移植に関するポスターやバナーの掲出、ビデオ上映、リーフレット配布を行いました。特に、昨年度のポスターコンテストで最優秀賞に輝いた作品に啓発ロゴを記載したオリジナルの付箋セットは、翌日から行った同所でのポスター展期間中で全てなくなるなど、エコバッグとともに臓器移植の意義を多くの方に伝えることができました。なお、アンケート調査では宮崎県腎臓病協議会様に、ブース設営等では宮崎県難病団体連絡協議会様にご協力いただきました。ありがとうございました。



当日は好天にも恵まれ多くの方の前で活動することができました。



臓器提供の意思表示の必要性をわかりやすくお伝えしました。



アンケート調査には多くの方からご協力いただきました。

あなたの疑問にお答えします

【問い】 運転免許証やマイナンバーカードの裏面に臓器提供の意思表示欄があるのはなぜですか。

【答え】

脳死又は心臓停止後の臓器提供については、まず本人の意思が尊重され、さらに家族の承諾が必要となります。また本人の意思が不明な場合は、家族が臓器提供の可否を決断することになります。令和3年の内閣府世論調査によると、臓器提供の意思を予め書面で表示していた家族が脳死又は死亡と診断された場合にその意思を尊重すると回答した人は90.9%であった一方で、家族が臓器提供の意思表示をしていなかった場合、臓器提供を決断することを「負担に感じる」と回答した人は85.6%でした。この結果からも自分の意思をしっかりと表示しておくことは、家族の負担感を減少させ、判断を後押しすることがうかがえます。大震災と同じく不慮の事故等で脳死状態になることは予測不能です。携帯義務のある運転免許証等に意思表示欄が設けられているのもそのためです。被災した際の避難場所を予め家族で決めておくのと同じように、臓器提供について家族と話し合い、自分の意思を **(YES、NO)** でしっかりと示しておくことはとても大切です。

年間を通じた取組

○ 出前講座

臓器移植の内容や現状などについて、正しく理解していただくため、当財団では、臓器移植コーディネーターや臓器移植を経験された方を講師として派遣する「出前講座」を無料で実施しています。

医療教育機関での出前講座

臓器移植を必要とする患者さんに適切に対応していくとともに、終末期にある患者やその家族を支援していく上で、医療従事者が臓器移植について正しく理解しておくことが重要です。

そのため、当財団では、看護学校などに出向いて、臓器移植の現状や患者と家族に対する支援の方法等について講義を行っています。一般社団法人宮崎県腎臓病協議会の御協力をいただき、御要望に応じて臓器移植経験者のお話も聞くことができます。



○ 医療機関における臓器提供体制づくり

宮崎県は臓器提供に対応できる12の医療施設を腎臓提供協力病院として指定しています。

臓器提供に関する意思をお持ちの方やそのご家族の意思を叶えるために、各医療機関の医師・看護師等を構成メンバーとして、臓器提供・臓器移植に関する知識の向上のための研修会や、意見交換を行っています。

★ 第1回腎臓提供協力病院連絡会議

第1回連絡会議を10月8日に開催しました。今回は、国立病院機構 熊本医療センター 救命救急・集中治療部長の櫻井聖大先生から「当院における移植医療の取り組みの現状と課題」のテーマで講演していただきました。



第1回腎臓提供協力病院連絡会議の様子（WEB開催）

また、できるだけ多くの医療関係者に移植医療の現状と課題に対する理解を深めていただくため、今回は院内での業務の合間に参加できるWEB方式で行いました。参加者31名は、臓器移植に関わるスタッフ間の連携の様子や院内体制の留意点等について熱心に聞き入っていました。

【腎臓提供協力病院】 (12施設)

宮崎善仁会病院、潤和会記念病院、県立宮崎病院、宮崎大学医学部附属病院、
県立日南病院、藤元総合病院、都城市郡医師会病院、西都児湯医療センター
千代田病院、延岡共立病院、県立延岡病院、宮崎市郡医師会病院

—宮崎県での臓器移植の現状—

県内では腎臓の移植が可能で、県立宮崎病院で行われています。亡くなられた方からの腎臓提供による移植は1996年から2023年までに20件行われています。

(一口メモ)

“臓器提供”といいますと、心臓が停止した後に提供される場合と脳死の方から提供される場合があります。

提供できる臓器は、心停止後では腎臓、脾臓及び眼球、脳死下では心臓、肺、肝臓、脾臓、腎臓、小腸及び眼球になります。

提供ができる施設の要件は、心停止後では手術室のある病院であれば、どの病院でも提供が可能です。一方、脳死下では臓器移植法のガイドラインに定められている施設に限られています。



賛助会員・寄付について

当財団の運営は、活動の趣旨に御賛同いただいた方々からの賛助会員会費や寄付金で支えられています。深く感謝申し上げます。



この号では、令和6年1月から12月の間に御協力をいただいた皆様を御紹介します。
温かい御支援、誠にありがとうございました。

特別賛助会員ご芳名

※ 50音順、敬称略 ※ 公表に御承諾いただいた方のみ掲載

アクティヴ情報システム株式会社	家村内科	一般社団法人にしもろ薬剤師会
一般社団法人南那珂医師会	一般社団法人宮崎県銀行協会	一般社団法人宮崎県歯科医師会
一般社団法人宮崎県腎臓病協議会	一般社団法人宮崎県薬剤師会	一般社団法人宮崎県臨床検査技師会
一般社団法人宮崎市郡歯科医師会	医療法人碧澄会徳田内科・とくだ小児科	医療法人紫陽花会わたなべ小児科
医療法人育成会矯正・小児ひまわり歯科	医療法人慶仁会ふくとめクリニック	医療法人財団シロアム会新城眼科医院
医療法人社団弘文会松岡内科医院	医療法人社団絃和会平和台病院	医療法人社団児玉小児科
医療法人社団修養会盛田内科クリニック	医療法人社団清風会清風会クリニック	医療法人社団日高アイレHDクリニック
医療法人社団百喜会上野医院	医療法人社団福生会	医療法人十全会みのだ泌尿器科医院
医療法人修和会戸倉医院	医療法人春光会春光会記念病院	医療法人仁愛会横山病院
医療法人伸和会延岡共立病院	医療法人聖美会南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	医療法人隆徳会鶴田病院
医療法人芳徳会	医療法人誠和会和田病院	医療法人緑耀会小緑内科クリニック
医療法人宮崎中央ふかお透析内科クリニック	医療法人雅会河野整形外科	医療法人恵喜会西都病院
医療法人養気会池井病院	医療法人よしき会どんぐりこども診療所	医療法人由耀会さわの内科クリニック
医療法人和真会東内科クリニック	医療法人 YM 会山下医院	雲海酒造株式会社
沖 内科・小児科医院	落合内科	株式会社テレビ宮崎
株式会社ハンズマン	株式会社宮崎日日新聞社	株式会社宮崎放送
清本鉄工株式会社	霧島ホールディングス株式会社	県立宮崎病院
公益社団宮崎県看護協会	公益財団法人宮崎県健康づくり協会	公益社団法人宮崎県医師会
小林市立病院職員互助会	コマツ宮崎株式会社	社会医療法人泉和会千代田病院
社会医療法人同心会古賀総合病院	税理士法人アイビーパートナーズ	地方独立行政法人西都児湯医療センター
特定医療法人健腎会おおぬきクリニック	特定医療法人健腎会おがわクリニック	のだ小児科医院
福井石油株式会社	都城市郡医師会病院ナース会	宮崎オーシャンライオンズクラブ
宮崎ガス株式会社	宮崎ケーブルテレビ株式会社	宮崎県アイバンクライオンズ協力会
宮崎県透析医会	宮崎県農業協同組合西都地区本部	宮崎市郡医師会病院
宮崎電子機器株式会社	有限会社蛸原木材工業	

一般賛助会員ご芳名

※ 50音順、敬称略 ※ 公表に御承諾いただいた方のみ掲載

壹岐和彦	市成典文	今村公則	今村清美	岩崎恵子	内田俊浩
大野たき子	小川智巳	甲斐恵子	鹿島寛俊	柏田大樹	鎌田信次
川北正文	川越正敏	川野美奈子	北蘭武彦	古賀正広	小牧斎
駒路美保	佐藤元二郎	佐藤雅宏	重盛俊郎	島田浩二	正入木和久
高山修二	田場香織	鶴田まゆみ	外山景一	永友政行	永野秀子
橋本文人	花房かおり	濱田潤子	濱田政雄	日高孝治	布施慶太郎
松田のり子	松田隆則	松永昌之	松本卓也	松元友絵	宮田純一
盛田英規	山内良澄	横山幸子	吉山政子		

一般寄付者ご芳名

※ 50 音順、敬称略 ※ 公表に御承諾いただいた方のみ掲載

医療法人尚生会上田内科	学校法人宮崎日本大学学園	県障がい福祉課
県都城保健所	小林市立病院職員互助会	宮崎はまゆうライオンズクラブ
蛭原夕起子	大槻靖孝	財部記公子
津田君彦	永石大介	長倉正朋
永野秀子	福田芳光	村社康浩
吉玉典生		

100 円寄付者ご芳名

※ 敬称略 ※ 公表に御承諾いただいた方のみ記載。官公庁は自治体名のみ記載。

綾町地域包括支援センター有志	一般社団法人宮崎県公衆衛生センター	学校法人日南学園高等学校
学校法人日章学園宮崎医療福祉専門学校	川南町食生活改善推進協議会	公益財団法人宮崎県健康づくり協会
公益財団法人宮崎県建設技術推進機構	公益財団法人宮崎県産業振興機構	公益財団法人宮崎県市町村振興協会
公益社団法人宮崎県森林林業協会	公益社団法人宮崎県畜産協会	西都商工会議所
椎葉村社会福祉協議会	児童養護施設さくら学園	社会福祉法人富高福祉会富高保育園
社会福祉法人日章福祉会日章野菊の里	社会福祉法人晴陽会うからの里高鍋事業所	聖心ウルスラ学園高等学校看護専攻科
都農町食生活改善推進協議会	鵬翔高等学校看護専攻科	都城市郡医師会病院
都城シティライオンズクラブ	宮崎北ロータリークラブ	宮崎県後期高齢者医療広域連合
宮崎県国民健康保険団体連合会職員有志一同	宮崎県森林組合連合会	宮崎県中小企業団体中央会
宮崎県道路公社	宮崎県土地改良事業団体連合会	宮崎東ロータリークラブ
宮崎県庁	宮崎市役所	都城市役所
延岡市役所	日南市役所	小林市役所
日向市役所	串間市役所	西都市役所
えびの市役所	高原町役場	国富町役場
綾町役場	高鍋町役場	新富町役場
西米良村役場	川南町役場	都農町役場
門川町役場	諸塚村役場	椎葉村役場
美郷町役場	高千穂町役場	日之影町役場

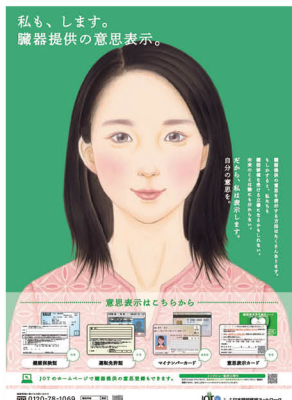
寄付金付き自動販売機の設置によりご寄附いただいた団体

(2箇所 50音順、敬称略)

川南町保健センター (コカ・コーラボトラーズジャパン(株))

県都城保健所 (宮崎県農協果汁(株))

啓発ポスター (日本臓器移植ネットワーク提供)



私も、します。臓器提供の意思表示。

いのちを救うきっかけが、会話のなかにあるかもしれない

臓器移植のことを学んでみませんか～出前講座のご案内

当財団では、5ページでご紹介しました医療教育機関のほか、中学校・高校にも臓器移植コーディネーターを派遣し説明する出前講座を開催しています。

中学校・高校では「いのちの大切さ」を考えることを目的の一つとしていますので、自宅で家族と話し合う相乗効果が期待されます。

医療教育機関も含め講師派遣に関する謝金や旅費等は不要ですので、お気軽にご利用ください。

出前講座のお申込みや詳しいことをご知りになりたい方は、財団ホームページをご覧ください。か、財団事務局にお電話でお問い合わせください。



賛助会員・寄付金募集への御協力をお願いします

当財団の活動の趣旨にご理解をいただき方々からの賛助会費や寄付金が当財団の事業を支える貴重な財源となっています。今後も、臓器移植を推進するため、臓器移植の普及啓発や医療機関の臓器提供体制の強化支援等に取り組んでいく所存ですので、温かいご支援をいただきますようお願い申し上げます。

なお、賛助会員会費と寄付金の金額等については次のとおりお願いしております。

賛助会員

特別会員（法人、団体）：年会費 2万円（1口）

一般会員（個人）：年会費 千円（1口）

寄付

一般寄付：金額は任意

100円寄付（職場、学校等のグループ単位）
お一人 100円以上を募金感覚で寄付し所属でまとめて送金

当財団にお寄せいただいた賛助会費や寄付金については、税の優遇措置を受けることができます。

詳細は財団ホームページをご覧ください（お電話でのお問い合わせにも応じております）。

支援型自動販売機設置のお願い

支援型自動販売機は、飲料メーカーのご協力を得て、自動販売機で購入した飲み物代金の一部を特定の事業を行うことを目的とする法人等に寄付していただくものです。県内で当財団に支援いただく自販機として、現在川南町保健センターと都城保健所の計2か所から寄付として売上金の一部をいただいております。また、シンボルカラーである鮮やかなグリーンを基調とする自販機（7ページに掲載）は臓器移植の広告塔としての効果が発揮できます。公共施設等で自販機の新設、更新を行う際には、ぜひこの支援型自動販売機の設置を御検討くださいますようお願いいたします。

編集後記

過去28年間で20件だった県内での献腎移植が今年は既に4件行われました。理由は不明ですが、脳死という極限状態の中でも、医療機関の丁寧な説明を理解し、臓器提供に際し生前のドナーの考え方をしっかりと受け止めておられる家族が着実に増えていることは間違いなさそうです。やはり家族は日頃からしっかりとコミュニケーションをとることが大切だと改めて感じました。ドナーのご冥福をお祈りするとともにご家族へ感謝の言葉を、レシピエントには心からのエールをお送りします。

当財団は、これからも移植医療の知識や意義の普及啓発を進め、移植医療が適正に行えるよう努めてまいります。

〔お問い合わせ先〕

公益財団法人 宮崎県移植推進財団

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10-1 防災庁舎2階
宮崎県福祉保健部健康増進課内

TEL 0985-25-3106

FAX 0985-26-7336

URL <https://m-is yokusuisin.com/>

